

平成6年度 常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成6年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成7年2月1日(水)に静岡市市民文化会館において開催された。

この検討会には、試験場関係者45名、委託関係者32名ほか、計80名の参集を得て、除草剤11薬剤(63点)、生育調節剤7薬剤(62点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

なお、グリホサート液剤のスギナに対する除草効果は平成7年5月29日に、GR-58乳剤の中晩柑類における越冬果実の落果防止効果は平成6年10月7日に判定報告した。

平成6年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定結果一覧

A. 除 草 剤

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場 所名 <>は中 間または実 施中(数)	試験設計〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今 回 判 定	内 容
1. DPX-R64 顆粒水和剤 〔デュボン〕	新規化合物 ……………80%	カンキ ツ	作用性 新 規	植調研(殺 草スペクト ラム)。 (1) 果樹試口之 津(春期)。 (1)	〔一年生雑草全般〕 春期雑草発生始期～揃 い期(メヒシバ5～10 cm)；5, 10, 20g<15 l>、雑草生育期(メ ヒシバ30cm)；10, 20 g<30 l>；展着剤 (サーファクタントW K 0.1%)加用；茎葉 処理。 対：DCMU水和剤 30g<10 l>。	—	—(・成分未公開)
2. グリホサート 液剤 (ラウンドアップ) 〔日本モンサント〕	グリホサートイ ソプロピルアミ ン塩……………41%	カンキ ツ	適用性 継 続	神奈川園試 根府川、愛 知農総試蒲 郡、大阪農 技、長崎果 試、熊本農 研天草。 (5)	〔雑草全般；10倍希釈〕 春期および夏期、雑草 生育期(草丈30cm程度) ；10倍液(40, 50, 60 ml相当)<0.4, 0.5, 0.6 l>；専用散布器 使用；茎葉処理。 対：ラウンドアップ剤 50ml<2.5 l>。	実	実(前年どおり) 〔雑草全般(スギナを 除く)：10倍希釈〕 ・春～夏期、雑草生育 期(草丈30cm以下)。 ・10倍液の0.4～0.6 l/a散布。 ・茎葉処理。 ・専用散布器使用。

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 続の別	試験担当 場所名 >は中 間または実 施中 (数)	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
2. グリホサート 液剤 (つづき)		カンキ ツ	適用性 継 続	果樹試験津, 鹿児島大学, 静岡柑試, 和歌山果園 試, 山口大 島柑試, 大 分柑試津久 見. (6)	〔スギナ; 草種の拡大〕 (年内および翌春の効果) 春～夏期, 1回, 生育 旺盛時; 200mlの <2.5, 5, 10 l = 12.5, 25, 50倍処理 (少水量散布は専用ノ ズル使用)>; 茎葉処 理. 対: パスタ液剤 100 ml <10 l>.	実・ 継	実) 〔スギナ〕 ・夏期(スギナ生育盛 期). ・200ml <2.5～10 l /a> (少水量散布 は, 専用ノズル使用). ・茎葉処理. 継)・地下茎に対する効 果の確認.
〔日本モンサント〕			薬 害 継 続	和歌山果園 試, 山口大 島柑試. (2)	〔薬害試験; 薬量増, 初 年目〕 ①夏期および秋期; 400→400ml, ②夏 期; 1,000ml <10 l> ; 土壌処理.		
3. Hoe-86610 液剤 (ハヤブサ)	グリホシネート ……………8.5%	ビ ワ	適用性 継 続	千葉暖地園 試, 兵庫淡 路農技, 徳 島果試県北, 長崎果試, 鹿児島果試. (5)	〔一年生雑草全般〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm以下) ; 40, 50, 75ml <10 ～15 l>; 茎葉処理. 対: プリグロックSL 液剤 80ml <10～ 15 l>.	実	実) 〔一年生雑草全般〕 ・春～夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・40～75ml/a <10～ 15 l/a>. ・茎葉処理.
〔ハヤブサ普及 会; ヘキスト ジャパン〕							
4. Mon-93A 液剤	グリホサートア ンモニウム塩 ……………33%	カンキ ツ	適用性 継 続	静岡柑試, 広島県研常 緑研, 大分 柑試, 大分 柑試津久見, 宮崎総農試. (5)	〔雑草全般〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm程度) ; 25ml <2.5, 5, 10 l>, 50ml <2.5, 5 l>; 2.5と5 l は専用ノズル使用; 茎 葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 25ml <2.5 l>.	実・ 継	実) 〔雑草全般(スギナ を除く)〕 ・春～夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・25～50ml/a <2.5 ～5 (専用ノズル使 用), 10 l/a>. ・茎葉処理. 継)・効果の確認.
〔日本モンサント〕							
5. Mon-93B 液剤	グリホサートノ ルマルプロピル アミン塩……………41%	カンキ ツ	適用性 継 続	静岡柑試, 広島県研常 緑研, 大分 柑試, 大分 柑試津久見, 宮崎総農試. (5)	〔雑草全般〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm程度) ; 25ml <2.5, 5, 10 l>, 50ml <2.5, 5 l>; 2.5と5 l は専用ノズル使用; 茎 葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 25ml <2.5 l>.	実・ 継	実) 〔雑草全般(スギナ を除く)〕 ・春～夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・25～50ml/a <2.5 ～5 (専用ノズル使 用), 10 l/a>. ・茎葉処理. 継)・効果の確認.
〔日本モンサント〕							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 続 別	試験担当場 所名 <は中 間または実 施中>	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
6. PR-084 液剤 〔ゼネカ〕	ジクワット ……………1.9% グリホサートト トメシウム塩 ……………32%	カンキ ツ	適用性 継 続	神奈川園試 根府川, 徳 島果試, 佐 賀果試, 熊 本農研果研. (4)	〔雑草全般; 速効性〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm以下) ; 25, 50, 75ml <10 l> (25ml は一年生 雑草対象); 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 50ml <10l>.	実・ 継	実) 〔雑草全般〕 ・春～夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・50～75ml/a <10 l/a>. ・茎葉処理. 継) ・25ml/a の効果確 認.
7. PR-085 液剤 〔ゼネカ〕	グリホサートト リメシウム塩 ……………28%	カンキ ツ	適用性 継 続	三重農技紀 南, 兵庫淡 路農技, 高 知農技果試, 熊本農研天 草, 大分柑 試. (5)	〔雑草全般〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm以下) ; 25, 50, 75ml <10 l> (25ml は一年生 雑草対象); 茎葉処理. 対: タッチダウン液剤 40ml <10l>.	実・ 継	実) 〔雑草全般〕 ・春～夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・50～75ml/a <10 l/a>. ・茎葉処理. 継) ・25ml/a の効果 確認.
			薬 害 新 規	神奈川園試 根府川, 徳 島果試果北. (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期; 150 → 150ml, ②春 期または夏期; 375ml <10l>; 土壌処理, ③春期または夏期; 75 ml <10l>; 茎葉処 理.		
8. SC-224 液剤 (タッチダウン) 〔タッチダウン 協議会: ゼネ カ〕	グリホサートト リメシウム塩 ……………38%	カンキ ツ	適用性 継 続	神奈川園試 根府川, 愛 知農総試蒲 郡, 愛媛果 試, 熊本農 研天草, 大 分柑試津久 見. (5)	〔雑草全般; 10倍希釈〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm以下) ; 10倍液 (40, 50, 60 ml 相当) <0.4, 0.5, 0.6 l>; 専用散布器 使用; 茎葉処理. 対: タッチダウン液剤 50ml <10l>.	実	(前年通り) 実) 〔雑草全般(スギナ を除く): 10倍希釈〕 ・春～夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・10倍液の0.4～0.6 l/a 散布. ・茎葉処理. ・専用ノズル使用.
9. SL-160 水和剤 〔石原産業〕	フラザスルフロ ン……………10%	カンキ ツ	<5年 度> 適用性 継 続	静岡柑試, 広島果研柑 橋研, 愛媛 果試, 佐賀 果試, 大分 柑試津久見. (5)	〔雑草全般〕 早春期(1～2月), 雑草生育期(草丈20cm 以下); 7.5, 10g <10～15l>; 茎葉処 理; 展着剤加用. 対: パスタ液剤 50ml <10l>.	実	実) 〔雑草全般〕 ・早春～春期, 雑草生 育期(草丈20cm以下). ・7.5～10g/a <10～ 15l/a>. ・展着剤加用. ・茎葉処理.

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種類・継 続の別	試験担当場 所名 <>は中 間または実 施中 (数)	試験設計 〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今 回 判 定	内 容
10. SL-161 水和剤 〔石原産業〕	フラザスフロ ン……………1.3% グルホシネート ……………18.3%	カンキ ツ	適用性 継 続	千葉暖地園 試，三重農 技紀南，大 阪農技，山 口大島柑試， 福岡農総試 園研，長崎 果試， (6) <早春期>	〔一年生雑草全般・多年 生小型イネ雑草・多年 生広葉雑草〕 春期および早春期，雑 草生育期（草丈20cm程 度）；25，30，40 g <10~15 l>；茎葉処 理。 対：バスタ液剤 100 ml <10 l>。	実・ 継	実)〔雑草全般〕 ・春期，雑草生育期 （草丈20cm以下）。 ・25~40 g/a <10~ 15 l/a>。 ・茎葉処理。 継)・早春期の効果確認。
11. UVL-03 液剤 〔日本モンサ ント〕	グリホサートイ ソプロピルアミ ン塩……………6%	カンキ ツ	適用性 継 続	愛知農総試 蒲郡，三重 農技紀南， 大阪農技， 徳島果試， 高知農技果 試，福岡農 総試園研。 (6)	〔雑草全般〕 春期および夏期雑草生 育期（草丈30cm程度） ；300，400，500 ml <原液散布：専用散布 器使用>；茎葉処理。 対：ラウンドアップ液 剤 50ml <2.5 l （専用ノズル使用）>。	実	（前年どおり） 実)〔雑草全般（スギナ を除く）〕 ・春~夏期，雑草生育 期（草丈30cm以下）。 ・300~500 ml/a <原 液散布：専用散布器 使用>。 ・茎葉処理。 注)・低薬量では，散 布むらがあることが あるので注意する。

B. 生育調節剤

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種類・継 続の別	試験担当場 所名 <>は中 間または実 施中 (数)	試験設計 〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今 回 判 定	内 容
1. CS-2H 水溶剤 〔白石カルシ ウム〕	硫酸カルシウム 二水和物…57% 塩化カルシウム ……………27% その他……………16%	ウンシ ユウミ カン 普通ウ ンシュ ウ	作用性 継 続 作用性 継 続	愛媛大学。 (1) 和歌山果園 試，山口大 島柑試，熊 本農研果研。 (3)	〔浮皮防止〕 （生体解析） 詳細は一任。 〔浮皮防止・予措；処理 時期〕 ①無処理，②夏期散布 8/上→8/下；300 倍2回，③夏秋散布 8/下→9/下；300 倍2回，④秋期 9/ 下→10/中；300倍2 回，⑤クレフノン水和 剤 着色開始期から 100倍2回；枝別処理 （果実からしたたり落 ちる程度）。 （浮皮度による調査実 施）	継	継)・効果の確認。

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当 所名 ＜＞は中 間または実 施中	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量＜水量 l＞／a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
1. CS－2H 水溶剤 (つづき)		普通ウ ンシュ ウ	適用性 新 規	広島果研常 緑研, 愛媛 果試, 福岡 農総試園研. (3)	〔浮皮防止・予措; 濃度〕 ①無処理, ②8／下→ 9／下; 400倍 2回, ③8／下→9／下; 300倍 2回, ④8／下 →9／下; 200倍 2回, ⑤クレフノン水和剤 着色開始期から100倍 2回; 枝別処理(果実 からしたたり落ちる程 度). (浮皮度による調査実 施)		
		ウンシ ュウミ カン (後期 加温型 ハウス)	適用性 新 規	愛知農総試 蒲郡, 佐賀 果試, 大分 柑試. (3)	〔浮皮防止・予措; 濃度〕 ①無処理, ②7／上→ 7／下; 500倍 2回, ③7／上→7／下; 400倍 2回, ④7／上 →7／下; 300倍 2回, ⑤クレフノン水和剤 着色開始期; 100倍 1 回; 枝別処理(果実か らしたたり落ちる程度). (浮皮度による調査実 施)		
		ウンシ ュウミ カン (露地) 品種一 任	薬 害 新 規	宮崎総農試. (1)	〔薬害発生限界濃度〕 ①無処理, ②7／上→ 8／上; 200倍 2回, ③7／上→8／上; 100倍 2回, ④7／上 →8／上; 50倍 2回; 枝別処理(果実からし たたり落ちる程度). (夏芽・幼果に対する 薬害および落果率)		
		ウンシ ュウミ カン	自 主	広島果研常 緑研. (1)	その他のカルシウム剤		
〔白石カルシウ ム〕							
2. GR－58 乳剤 (マデック)	MCPB…20%	清 見	＜5年 度＞ 適用性 継 続	山口大島柑 試, 愛媛果 試南予, 佐 賀果試, 大 分柑試津久 見. (4)	〔収穫前落果防止〕 ①無処理, ②11／下; 3,000倍, ③12／下; 3,000倍, ③11／下 →12／下; 3,000倍 2回; 立木全面散布.	実・継	実)〔清見: 冬の落果 防止〕 ・12月下旬の1回, ま たは, 11月下旬およ び12月下旬の2回. ・3,000倍. ・立木全面散布.
〔アグロカネシ ョウ〕							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類・新・継続の別	試験担当場所名 < >は中間または実施中(効)	試験設計〔対象雑草；ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今回判定	内 容
2. GR-58 乳剤 (つづき)		清 見	作用性 継 続	<果樹試口 之津>. (1)	〔低温条件下での落果防 止〕 (低温条件については 一任)。		継)・散布時期および年 次変動について。 ・こはん症の発生要因。
		ネーブル	<5年 度> 適用性 継 続	和歌山果園 試, 広島果 研柑橘研, 愛媛果試, 熊本農研果 研→H4分. <熊本農研 果 研 → H 6>. (4)	〔越冬果実の落果防止〕 11月中旬と12月中旬の 2回散布, ①無処理, ②3,000倍→3,000倍, ③2,000倍→2,000倍; 立木全面散布. (袋掛けする場合は最 終散布後)	実・ 継	実)〔ネーブル: 冬の 落果防止〕 ・11月中旬および12月 中旬の2回。 ・3,000～2,000倍。 ・立木全面散布。 継)・効果の確認(散布 時期, 希釈倍数, 散 布回数)と年次変動 について。
			適用性 継 続	<和歌山果 園試>,<広 島果研柑橘 研>,<愛媛 果試>,<熊 本農研果 研→H7>. (4)			
		はっさ く	<5年 度> 適用性 継 続	和歌山果園 試, 広島果 研柑橘研, 愛媛果試岩 城, 徳島果 試県北. (4)	〔越冬果実の落果防止〕 11月中旬と翌年1月下 旬の2回散布, ①無処 理, ②3,000倍→3,000 倍, ③2,000倍→2,000 倍; 立木全面散布. (袋掛けする場合は最 終散布後)	実・ 継	実)〔はっさく: 冬の 落果防止〕 ・11月上中旬および翌 年1月下旬の2回。 ・3,000～2,000倍。 ・立木全面散布。 継)・効果の確認(散布 時期, 希釈倍数, 散 布回数)と年次変動 について。
			適用性 継 続	<和歌山果 園試>,<広 島果研柑橘 研>,<愛媛 果試岩城>, <徳島果試 県北>. (4)			

〔アグロ カネ
ショウ〕

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の別	試験担当場所 名は中 間または実 施中 (効)	試験設計〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量＜水量 ／a；処理方法等	今回判定	内 容
2. GR-58 乳剤 (つづき)		河内晩 柑，大 谷伊予 柑，大 橋，セ ミノール	＜5年 度＞ 適用性 継 続	河内晩柑； 果樹試口 之津（作 用性）， 愛媛果試 南予，熊 本農研果 研，熊本 農研天草， 大谷伊予柑； 愛媛果試 南予， 大橋；鹿児島 島果試。 (6)	〔越冬果実の落果防止〕 11月中旬と翌年1月下旬の2回散布，①無処理，②3,000倍→3,000倍，③2,000倍→2,000倍；立木全面散布。 (袋掛けする場合は最終散布後)	実・継	実)〔河内晩柑：冬の落果防止〕 ・11月中下旬の3,000倍1回散布，または，11月上～下旬および翌年1月下旬の3,000～2,000倍2回散布。 ・立木全面散布。 継)・効果の確認（散布時期，希釈倍数，散布回数）と年次変動について。
			適用性 継 続	河内晩柑； 果樹試口 之津（作 用性）， 愛媛果試 南予，熊 本農研果 研，熊本 農研天草。 (4)			
				大谷伊予柑； 愛媛果試 南予， 大橋；鹿児島 島果試。 (2)		継	継)・効果の確認。
			適用性 新 規	セミノール； ＜和歌山果 園試。＞ (1)		—	—
〔アグロ カネ ショウ〕							
3. J-455 乳剤 (フィガロン)	エチクロゼート ……………20%	ウンシュウミ カン (露地)	＜5年 度＞ 作用性 継 続	果樹試口津， 果樹試口之 津。 (2)	〔エスレルとの混用による摘果〕 (翌春の調査) 満開後10～20日目：①人手による群状結実，②フィガロン1,000倍＋エスレル2,000倍； 詳細は別途協議。	実	(前年どおり) 実)〔ウンシュウミカン：群状結実用部分全摘果〕 ・満開後15～20日後。 ・1,000倍＜葉先からしたたり落ちる程度＞。 ・エスレル2,000倍加用。
〔日産化学工業〕							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 続の別	試験担当 場所名 <>は中 間または実 施中(数)	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
3. J-455 乳剤 (つづき) 〔日産化学工業〕		ウンシ ュウミ カン (露地)	適用性 継 続	静岡柑試, 和歌山果園 試, 広島果 研常緑研, 山口大島柑 試, 香川農 試府中, 愛 媛果試, 佐 賀果試, 熊 本農研果研. (9)			・群状結実用に部分全 摘果したいところに 散布(専用ノズル使 用).
4. PP-333 フロアブル剤 (バウンティ) 〔バウンティ・ トリミッド協議 会: ゼネカ〕	バクロブトラゾ ール……21.5%	ウンシ ュウミ カン (ハウ ス)	<5年 度> 適用性 継 続	静岡柑試(2), 愛知農総試 蒲郡, 佐賀 果試. (4)	〔新梢伸長抑制〕 (加温後の着花, 新梢 ・果実品質に対する影 響について翌春調査) 収穫後, 新梢発芽直前 ~5mm以下; 500~250 倍; 立木全面散布	実	(前年どおり) 実)〔ウンシュウミカン : 新梢伸長抑制〕 ・新梢発芽直前~5mm 以下. ・500~250倍1回散 布. ・立木全面散布.
5. RIC-1 液剤 〔ロイヤルイン ダストリーズ〕	海藻ホモジネー ト	ウンシ ュウミ カン (露地 /コン テナ可)	基 礎 継 続	<果樹試興 津>, 愛媛 大学, 鹿児 島大学, 静 岡柑試. (4)	〔樹勢強化・品質向上〕 一任.	—	—
		伊予柑 (露地)	<5年 度> 適用性 継 続	愛媛果試岩 城. (1)	〔樹勢回復・品質向上〕 (処理方法の検討) 詳細は, 申請書を参照. (収穫時期を12月と1 月に分け調査)	—	—
			適用性 継 続	愛媛果試, <愛媛果試 岩城>. (2)			
6. S-327D 乳剤 〔住友化学工業〕	ウニコナゾール P………5%	ウンシ ュウミ カン	<5年 度> 作用性 継 続	鹿児島大学. (1)	〔着花増加効果〕 (翌春の調査) ①無処理, ②12月下旬 ; 100倍(500ppm), ②1月下旬; 100倍 (500ppm); 立木全面 散布.	継	継)・効果の確認.
			<5年 度> 適用性 継 続	静岡柑試, 福岡農総試 園研, 熊本 農研天草, 大分柑試. (4)			

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当 場所名 <>は中 間または実 施中 (効)	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 / > a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
7. TMP-941 水溶剤	Amino-eth- oxy-vinyl- glycine15%	ウンシ ュウミ カン (露地)	作用性 新 規	果樹試口之 津, 大阪府 立大学. (2)	〔浮皮防止・(保存性)〕 一任.	継	継)・効果の確認. ・薬害について.
〔トーマン〕			適用性 新 規	静岡柑試, 和歌山果園 試, 広島果 研常緑研, 愛媛果試, 福岡農総試 園研, 佐賀 果試. (6)	〔浮皮防止・(保存性)〕 浮皮発生3~4週間前 (または予想される時) ①無処理, ②2,000倍 (75ppm), ③1,000倍 (150ppm), ④300倍 (500ppm); 展着剤加用 ; 立木全面散布(した たり落ちる程度). (収穫2週間前になっ ても発生しない場合は, その時点で散布し, 収 穫後の保存性を検討)		

植 調 協 会 だ よ り

◎ 人 事 異 動

平成7年6月30日付

退職 事務局 技師

工 藤 恒 夫

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京(03)3832-4188(代)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 千坂 英雄
発行人 植 調 編 集 印 刷 事 務 所 広田 伸七

平成7年7月発行 定価412円(送料250円)
植調第29巻第4号 (本体400円, 消費税12円)

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植 調 編 集 印 刷 事 務 所
電話 東京(03)3833-1821番(代)
印刷所 新 成 印 刷 機